

令和6年

火災・救急・救助の概況

岡崎市消防本部

# 火 災 の 概 況

令和6年中の岡崎市における火災概況は出火件数89件、火災による焼損面積は建物1,662㎡、林野4a、損害額は1億5,931万7千円、火災による死者は7人、負傷者は17人であった。

出火件数は、前年から11件減少しており、焼損面積のうち建物の数値は前年から減少し、過去10年平均と比較しても減少している。林野の数値は、前年及び過去10年平均と比較しても減少しており、損害額についても前年及び過去10年平均の数値から減少している。（第1表）

【火災概況】

(第1表)

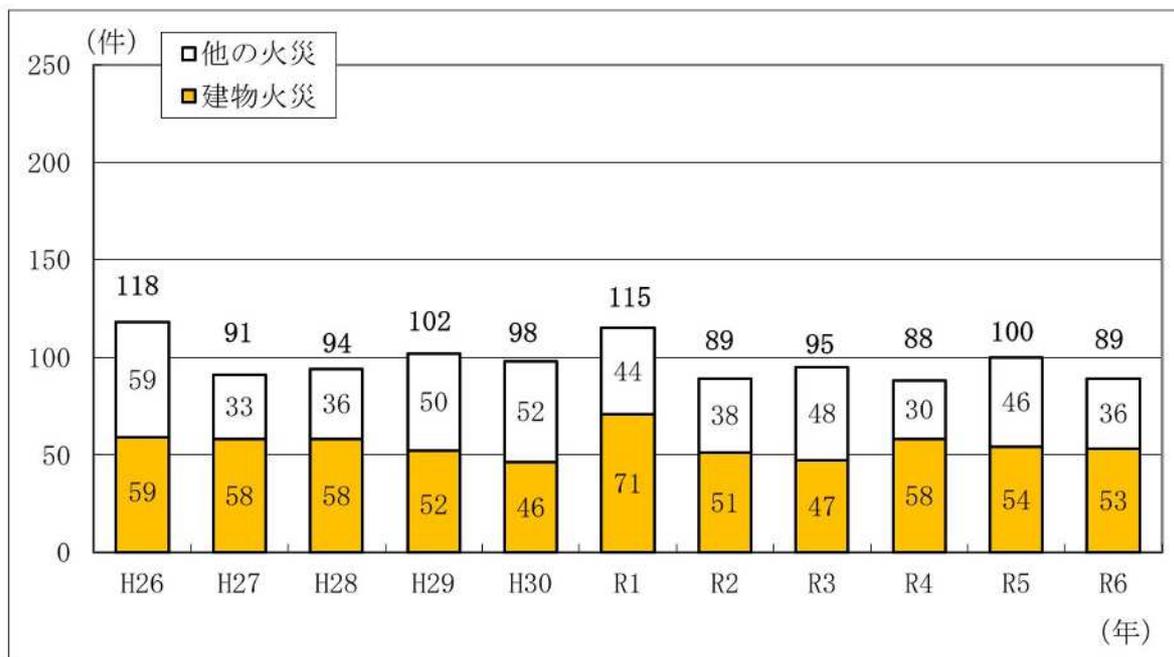
比較 区分		令和6年	令和5年	比較	過去10年平均	比較
		(A)	(B)	(A)-(B)	(C)	(A)-(C)
出火件数(件)		89	100	△11	99	△10
火災種別	建物火災	53	54	△1	55	△2
	林野火災	2	1	1	3	△1
	車両火災	10	17	△7	12	△2
	その他の火災	24	28	△4	28	△4
焼損面積	建物(㎡)	1,662	2,110	△448	2,222	△560
	林野(a)	4	5	△1	20	△16
損害額(千円)		159,317	220,297	△60,980	222,939	△63,622
死傷者(人)	死者	7	1	6	3	4
	負傷者	17	15	2	17	0

備考 △印は、減を示す。

## 1 出火件数

出火件数の89件を火災種別ごとにみると、建物火災が53件（60％）と最も多く、以下その他の火災が24件（27％）、車両火災が10件（11％）、林野火災が2件（2％）の順となっている。（第1表、第1図）

過去10年間の火災発生件数 (第1図)



## 2 損害額

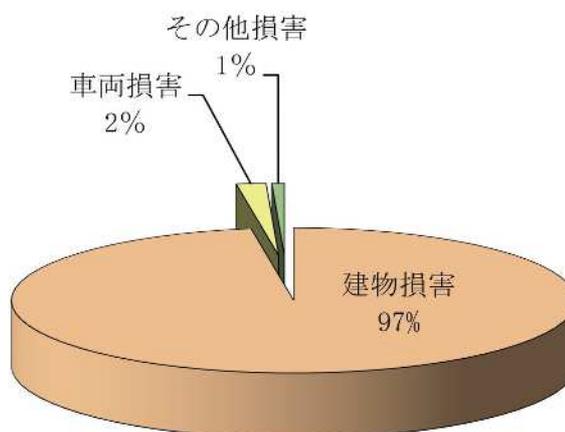
火災による損害額1億5,931万7千円の内訳をみると、最も多いのは建物損害の1億5,547万3千円で全損害の97％を占め、以下車両損害の270万円、その他損害の114万4千円の順となっている。（第2表、第2図）

損害額1億5,931万7千円は、前年の2億2,029万7千円と比較すると6,098万円の減少であり、過去10年平均の2億2,293万9千円より6,362万2千円減少している。（第1表）

【損害額の内訳】 (第2表)

損害種別	損害額 (千円)
建物損害	155,473
車両損害	2,700
その他損害	1,144
林野損害	
合計	159,317

(第2図)



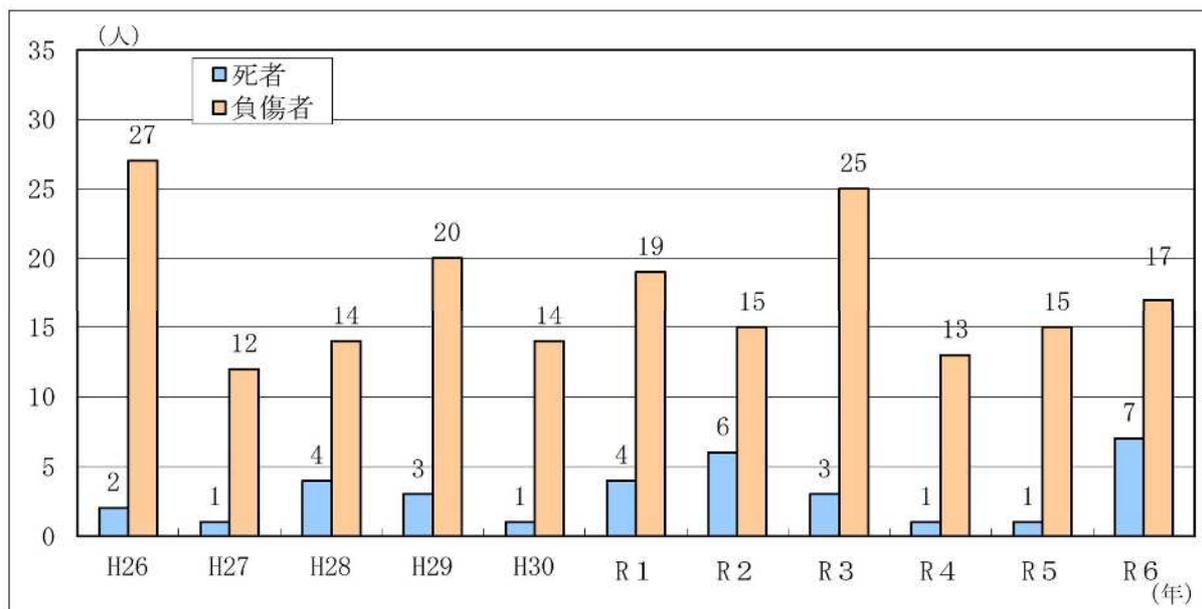
### 3 死者・負傷者

火災による死者は7人で、前年より6人増加しており、過去10年平均の3人より4人上回っている。

また、火災による負傷者は17人で、前年の15人と比較すると2人増加しており、過去10年平均の17人と同数である。(第1表、第3図)

過去10年間の死者・負傷者の発生状況

(第3図)



### 4 出火原因

出火件数89件の主な出火原因をみると、「放火・放火の疑い」が17件(19%)と最も多く、以下「たばこ」が12件(14%)、「たき火」が10件(11%)の順となっている。(第3表、第4図)

【主な原因別件数】

(第3表)

区分	令和6年 (件)	令和5年 (件)	比較 (件)
出火原因			
放火・放火の疑い	17	8	9
たばこ	12	9	3
たき火	10	13	△3
電気機器	6	1	5
配線器具	5	3	2
電灯・電話等の配線	3	1	2
こんろ	3 (0)	7 (3)	△4
他	33	58	△25
合計	89	100	△11

備考1 △印は、減を示す。

2 こんろの( )内は、天ぷら油火災を示す。

(第4図)

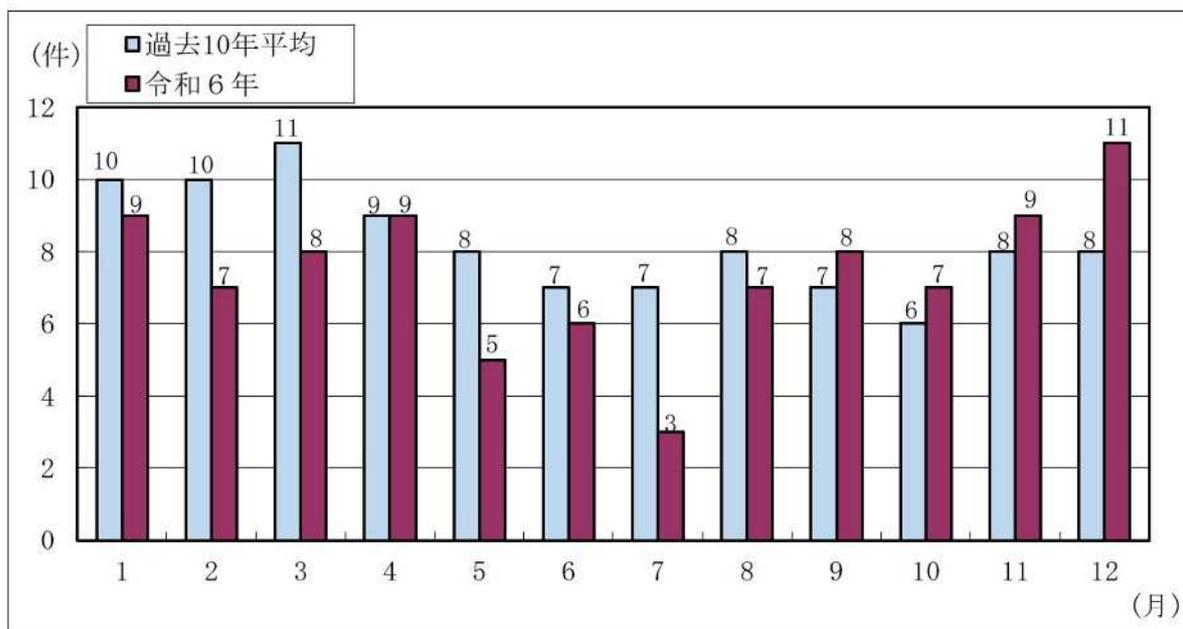


## 5 月別出火状況

出火件数 89 件を月別にみると、12 月が 11 件（12%）と最も多く、続いて 1 月、4 月及び 11 月が 9 件（10%）の順となっている。（第 5 図）

月別出火件数

（第 5 図）



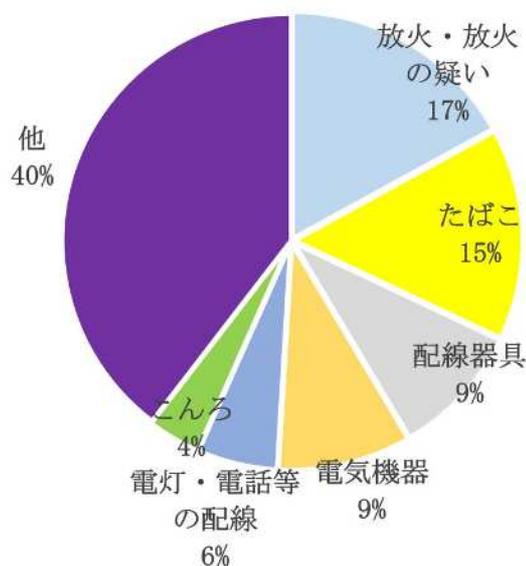
## 6 建物火災の状況（主な出火原因）

建物火災 53 件の主な出火原因別をみると、「放火・放火の疑い」が 9 件（17%）と最も多く、以下「たばこ」が 8 件（15%）、「配線器具」及び「電気機器」が 5 件（9%）の順となっている。（第 4 表、第 6 図）

【主な原因別件数】（第 4 表）

出火原因	出火件数 (件)
放火・放火の疑い	9
たばこ	8
配線器具	5
電気機器	5
電灯・電話等の配線	3
こんろ	2
他	21
合計	53

（第 6 図）



# 救 急 の 概 況

令和6年中の救急出場件数は19,204件で、搬送人員は17,731人であった。

前年と比較すると出場件数で123件、搬送人員は140人の増加であった。

種別内訳では、急病が13,212件(69%)で最も多く、以下一般負傷が2,579件(13%)、交通事故が1,052件(5%)の順となっている。増加したものは、火災、水難、労働災害、一般負傷、加害、急病及びその他で、減少したものは、自然災害、交通事故、運動競技及び自損行為であった。(第1表)

【救急出場状況表】

(第1表)

比較		令和6年	令和5年	比較	過去10年平均	比較
区分		(A)	(B)	(A)-(B)	(C)	(A)-(C)
救急出場件数		19,204	19,081	123	16,619	2,585
搬送人員		17,731	17,591	140	15,352	2,379
種別内訳	火災	41	38	3	44	△3
	自然災害	1	3	△2	2	△1
	水難	5	4	1	4	1
	交通事故	1,052	1,090	△38	1,160	△108
	労働災害	186	185	1	178	8
	運動競技	101	133	△32	98	3
	一般負傷	2,579	2,556	23	2,160	419
	加害	52	42	10	52	0
	自損行為	167	200	△33	176	△9
	急病	13,212	13,163	49	11,250	1,962
その他	1,808	1,667	141	1,498	310	

備考 △印は、減を示す。

## 月別救急出場状況

月別救急出場件数は、12月が2,002件と最も多く、6月が1,419件と最も少なかった。1か月の平均は1,600件で、1日平均53件となっており、27分に1件の割合で出場したことになる。(第2表)

搬送人員では、12月が1,824人と最も多く、6月が1,313人と最も少なかった。1か月の平均は1,478人で、1日平均49人となっており、市民22人に1人が救急車で搬送されたことになる。(第3表)

【月別救急出場件数】 (第2表)

種別 月別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月	3			76	14	5	215	8	16	1,292	130			18	1,777
2月	1		1	61	10	3	229	1	20	1,033	130			17	1,506
3月	4			89	11	2	211	5	21	1,073	150			27	1,593
4月	4			66	11	12	222	3	13	973	114			26	1,444
5月	3	1		86	12	11	215	3	10	1,007	119			27	1,494
6月	3			91	17	8	196	7	14	949	113			21	1,419
7月	1		3	93	32	17	230	5	12	1,330	123			32	1,878
8月	8			108	19	10	212	5	10	1,217	121			22	1,732
9月	4		1	75	23	16	178	3	9	1,024	116			20	1,469
10月	2			112	14	6	204	1	14	955	137			21	1,466
11月	4			90	9	4	221	6	8	944	117			21	1,424
12月	4			105	14	7	246	5	20	1,415	157			29	2,002
合計	41	1	5	1,052	186	101	2,579	52	167	13,212	1,527	0	0	281	19,204

【月別搬送人員状況表】 (第3表)

種別 月別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月				75	14	5	200	7	11	1,210	130				1,652
2月	1			55	10	3	204	1	14	963	130				1,381
3月	7			87	11	2	203	5	14	993	149				1,471
4月				61	11	12	203	3	10	909	114				1,323
5月		1		82	11	10	206	2	8	942	119				1,381
6月				87	16	7	189	6	10	885	113				1,313
7月				85	33	16	216	4	11	1,243	121				1,729
8月	3			104	20	10	203	5	7	1,121	120				1,593
9月	1			69	23	16	171	2	5	956	116				1,359
10月				113	14	6	198	1	13	885	137				1,367
11月	2			92	9	4	213	5	6	890	117				1,338
12月	1			104	13	6	225	6	14	1,298	157				1,824
合計	15	1	0	1,014	185	97	2,431	47	123	12,295	1,523	0	0	0	17,731

# 救 助 の 概 況

令和 6 年中の救助出動件数は228件で、救助人員は104人であった。

前年と比較すると出動件数は61件、救助人員は55人の減少であった。

過去10年間の平均出動件数は190件で、令和 6 年と比較すると38件の増加であった。

種別内訳からみると、その他の事故が全体の約38%にあたる87件を占め、続いて建物等による事故が86件（約34%）となっている。（第 1 表）

【救助出動状況】

(第 1 表)

区 分		比 較		過去10年平均 (C)	比 較 (A)-(C)
		令 和 6 年 (A)	令 和 5 年 (B)		
救 助 出 動 件 数		228	289	190	38
救 助 人 員		104	159	102	2
種	火 建 物	6	2	5	1
	災 建 物 以 外		1	1	△ 1
別	交 通 事 故	39	60	48	△ 9
	水 難 事 故	6	8	6	0
内	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故		9	1	△ 1
	機 械 に よ る 事 故	1	2	4	△ 3
	建 物 等 に よ る 事 故	86	103	64	22
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	3	5	4	△ 1
	破 裂 事 故				
訳	そ の 他 の 事 故	87	99	59	28

備考 △印は、減を示す。

# 月別救助出動状況

月別出動件数では、1か月の平均は約19件であり、1月、6月、12月が23件と最も多かった。その反面、4月は14件と最も少なかった。(第2表)

【月別救助出動状況】

(第2表)

種別 月別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
1月	1		2				12	1		7	23
2月			2	1			6	1		8	18
3月			3	1			8			10	22
4月			3				6			5	14
5月	1						10	1		9	21
6月			7				7			9	23
7月			5	2			6			7	20
8月	1		3				7			6	17
9月			1	1		1	6			6	15
10月			2	1			2			12	17
11月	2		5				4			4	15
12月	1		6				12			4	23
合計	6		39	6		1	86	3		87	228